

解答は全て丁寧にわかりやすく書くこと。判読しづらい文字や数字があった場合は全て不正解とする。

【問題一】 次の各問に答えなさい。解答は全て解答题紙の解答欄に記入すること。

(配点40点)

問一 次の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- 一 子どもがネンドで遊んでいる。
- 二 キセイで行動の自由が縛られる。
- 三 船はホを上げて外海に出て行く。
- 四 ロウバシンながら申し上げます。

問二 次の傍線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- 一 準決勝は辛勝だった。
- 二 風潮を解さない無粋な態度だ。
- 三 こんな恥辱を受けるとは心外だ。
- 四 故人の一周忌に墓参する予定だ。

問三 次の四字熟語の□の部分に入る漢字を答えなさい。

- 一 □式故実
- 二 無念無□
- 三 悠々自□
- 四 孟母□遷

問四 次の慣用語の□の部分に入る漢字を答えなさい。

- 一 引かれ者の小□ (負け惜しみ)
- 二 人を呪わば□二つ (人を傷つければ自分も不幸な目にあうこと)
- 三 □心あれば水心 (相手の出方により応じ方があること)
- 四 三つ子の魂□まで (幼い時の性質は変わらないということ)

問五 次の俳句はどの季節を詠んだものか。正しい答えを選択肢の中から1つ選び、番号で答えなさい。

花筏天龍川へ流れ込み 本間のぎく

- ① 春
- ② 夏
- ③ 秋
- ④ 冬

問六 次の傍線部の品詞を選択肢の中から1つ選び、番号で答えなさい。

あなたが言っている、あれとは何ですか。

- ① 感動詞 ② 副詞 ③ 連体詞 ④ 代名詞

問七 次の短歌の（ ）内に入る言葉を選択肢の中から1つ選び、番号で答えなさい。

秋来ぬと目にはさやかに見えねども（ ）の音にぞおどろかれぬる

藤原敏行(古今和歌集)

- ① 虫 ② 雨 ③ 風 ④ 人

問八 次のうち、ドストエフスキーの作品でないものはどれか。選択肢の中から1つ選び番号で答えなさい。

- ① 罪と罰 ② 戦争と平和 ③ 悪霊 ④ カラマーゾフの兄弟

【問題二】 次の文章をよく読み、後の各問に答えなさい。解答は全て解答用紙の解答欄に記入すること。(配点、問一～問五20点、問六20点)

社会的洞察力（他人の反応についての洞察力）、交渉力、協調力、調整力といった「目標達成のために人とやり取りをする能力」は、近年、経済学でも注目度が上がっている。ここではこの能力を「社会スキル」と呼び、近年注目が高まっている背景と、このスキルの育成に必要な観点について考えてみよう。

人間にとって、社会スキルはいつの時代も大事な能力であったはずだ。これが高ければさまざまな考えや知識を持つ人々と働くことが容易になり、新しいアイデアや解決策が生まれる可能性も高まる。これまでは学習や問題解決に関わる知的能力、いわゆる「認知スキル」ばかりが注目されてきた。だが、技術進歩によりロボットや人工知能（AI）がこの認知スキルを代替しつつある。社会スキルは少なくとも今のところAIが身に付けるのは難しいと考えられているため、注目されているのだ。

2つのスキルの需要は、どのように変化してきたのだろうか。米国の研究によると、1980年代以降、生産技術が進歩したことでルーチンの仕事が減少し、〈A〉抽象的思考力などの高い認知スキルを必要とする雇用が増加してきた。だが、米ハーバード大学のデビッド・デミング教授らの近年の研究によれば、00年代以降は、高い社会スキルを必要とする雇用の割合が増え、そのような職の賃金の伸びも高いことが指摘されている。技術進歩に伴いSTEM（科学、技術、工学、数学）人材の需要が高まっているといわれているが、実はSTEM職であっても、社会スキルの必要性が低い職は減少していることも示されている。さらに英オックスフォード大学のカール・フレイ教授らが、高い認知スキルを必要とする職さえも、今後AIが代替すると提唱した研究は大きな議論を呼んだ。彼らの予測は過大であるとの評価もあるが、独ZEW研究所のメラニー・アーンツ氏らの研究では、雇用の10%程度が今後20年の間に自動化されるリスクが高いとしている。

〈ア〉

だが、これらの研究でも、社会スキルは自動化されにくいスキルの1つと見なされている。将来的にさまざまな仕事の専門領域の再分化が進めば、それらを円滑に横断できる社会スキルの重要性はより高まるだろう。〈イ〉

今後高い社会スキルを持つ人材を育成するために、現在どのような人がこのスキルを持っているのかを確認しておきたい。筆者は、米国勢調査局と各職業の日々の仕事や典型的な労働者の資格を評価する米労働省雇用訓練局が行った2種類の大規模な調査データを用いて、仕事で必要とされる社会スキルのレベルと、学校教育のレベル、年齢との関係性を確かめた。それによると、仕事で必要とされる社会スキルのレベルは高卒者よりも大卒者のほうが高く、また、それらは年齢とともに上昇する傾向が見られた。〈ウ〉

認知スキルを用いて同様の関係性を確かめたところ、社会スキルの場合と同じく、仕事で必要とされるレベルは学校教育のレベルや年齢とともに上昇する傾向が見られた。しかしながら、年齢に伴う上昇傾向は社会スキルのほうがはるかに強く見られた。大卒者を大学の専攻分野別に見た場合では、仕事で必要とされる認知スキルのレベルには20代の

時点ですでに大きな違いが見られ、年齢に伴う変化も専攻分野によつて異なった。例えばSTEMを専攻した者は、20代の時点で非常に高い認知スキルを必要とする仕事に就いている傾向がある。だが、その後そのレベルが年齢とともに変化することはほとんどなかった。一方で社会スキルの場合、仕事で必要とされるレベルは、20代時点とその後年齢に伴う上昇の両方で、出身専攻分野による大きな違いは見られなかった。(エ)

これらの結果を見るに、従来重きを置かれていた認知スキルと同様、社会スキルも学校教育や仕事の経験を通して育成されると思われる。だが、認知スキルと比較して、社会スキルは仕事を通して育成の割合が大きい可能性がある。これは、仕事で本格的にチームとして働くことや、幅広い人々と交流することが、学生時代には得がたい経験だからかもしれない。

さて、これから日本でも高社会スキル人材の育成を進めるために、筆者は学校教育だけではなく、職場の変化も大事だと考えている。これまでの学校教育では認知スキルを伸ばすことに重点が置かれていた。大学を含め、座学を中心として先生から生徒に対する一方的な知識の伝達が主流だったのだ。そうした方法は社会スキルの育成においてあまり効果的でないと批判から、双方向の授業やグループワーク、ゼミナールでの討論、プレゼンテーションなどに力を入れる学校も増えてきている。このような学校教育の変化を歓迎する一方で、社会スキルを学校教育だけで十分に育成するのは難しいことも認識すべきである。日本経済団体連合会のアンケート調査によれば、企業が新卒採用に際して重視した点は18年までの16年連続で「コミュニケーション能力」、ここであるところの社会スキルが1位である。企業側は、大学卒業までに高い社会スキルを身に付けた学生を採用したいと考えているといえる。

(B)、学校での社会スキル育成には限界がある。その重要性への認識が広まってきているとはいえ、学校教育には認知スキルの育成、知識の伝達の役割が第1にあり、社会スキルの育成とどれほど両立できるかは不明だ。

さらにいえば、先ほどの分析に使用したのは米国のデータである。米国では、子どもの頃から人前で発表をし、団体運営に関わったり、交渉を通じて自分の意見を通したりする機会が日本と比べて多い。その米国人の大卒者ですら、仕事で経験を積むことで社会スキルを大幅に伸ばしているとすると、社会に入る前に十分な社会スキルを身に付けることは難しいだろう。仕事の場合は今後も社会スキル育成の役割を担う必要がある。また、日本の場合はとくに、社会スキルが単なる(C)ではないことに注意する必要がある。「報告・連絡・相談」がビジネスマナーの基本としていわれているが、これらはどちらかというと一方の情報の流れであり、異なる考えや知識の交わりといった双方向性が弱い。さまざまな立場や思考の人たちと意見を交わし、仕事を通じて社会スキルを伸ばす環境の整備も求められていくだろう。

(小野塚祐紀の文章による)

問一 問題の文章中には例のような同音異義語あるいは同訓異字の漢字間違いが1箇所ある。その間違いを指摘し正しい漢字に直しなさい。

- | | | | | | | |
|----|------------|---|----|---|---|----|
| 例1 | 大臣の職を自認する。 | 誤 | 自認 | ↓ | 正 | 辞任 |
| 例2 | 有名人を排出する。 | 誤 | 排出 | ↓ | 正 | 輩出 |
| 例3 | 事務を取る。 | 誤 | 取る | ↓ | 正 | 執る |

問二 次の文章は問題文中の〈ア〉〜〈エ〉のうち、どこに入るか。最も適切な位置を1つ選び、〈ア〉〜〈エ〉の記号で答えなさい。

〈つ〉つまり、学校教育と仕事の経験は社会スキルの上昇に寄与していることが示唆される。

問三 傍線部〈A〉抽象的の対義語として正しいものはどれか。次の選択肢の中から最も適切なものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 現実的 ② 具象的 ③ 印象的 ④ 通俗的

問四 本文中〈B〉に入る語句として正しいものはどれか。次の選択肢の中から最も適切なものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ① だから ② なぜなら ③ もしかしたら ④ だが

問五 本文中〈C〉に入る語句として正しいものはどれか。次の選択肢の中から最も適切なものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 情報伝達能力 ② ビジネスマナー
③ 認知スキル ④ 知識伝達能力

問六 問題文の要旨を70字以上、80字以下でまとめなさい。句読点も字数に含める。ただし、要旨の中に「双方向性」「仕事の場」「技術進歩」の語句を必ず含めること。なお、使用する語句の順番は問わない。

※解答は解答欄の一マス目から記述し始めること。

【問題三】 次の文章をよく読み、後の各問に答えなさい。解答は全て解答用紙の解答欄に記入すること。(配点20点)

「きつぷってなに？」と題する一(A)変わったポスターがこの春、埼玉県のJR越谷(こしがや)レイクタウン駅にお目見えした。券売機で買える切符の種類や使い方をイロハのイから説明する▼券売機では往復切符が買えません、途中下車しても差額は返金されません、と丁寧である。「切符が何かわからないという問い合わせが月1、2件はあります」とJR東日本大宮支社。幼いころから交通系ICカードに慣れ親しんだ若者が多い。東京圏でSuica(スイカ)の運用が始まってもう19年目だ▼さかのぼれば大正時代、切符は「テケツ」とも呼ばれた。チケットの発音から生まれた。明治のむかし、駅はステーションではなく「ステン所(ショ)」。こちらは長く使われたらしい▼まさに言葉は世につれ、世は言葉につれである。この秋、ラグビーW杯から一気に広まった「ONE TEAM(ワンチーム)」が今年の流行語大賞に決まった。ほかには「タピる」や「闇営業」も受賞した。どれが長生きして、どれが短命で終わるのか▼一世を風靡(ふうび)しながらはかなく消えた言葉は(B)の数ほどある。「アタピン」は飲むとすぐ(C)がピンと痛む悪い酒。「一六(いちろく)銀行」は質屋。一と六を足すと質(しち)の音になる。逆にいまでも通用する流行語もある。「サボる」「アル中」「へなちよこ」▼永久に不滅かと思われた「切符」がこの先もし死語になる日が来るとしたら、「電話」「紙幣」「印鑑」は大丈夫だろうか。どんな言葉であれ、かつ消えかつ(D)びて、久しくとどまらるためしなし。

(令和元年十二月三日付朝日新聞、『天声人語』による)

問一 本文中の(A)～(D)に入る最も適切な漢字を答えなさい。ただし、全て漢字1字で答えること。

問二 本文のタイトルとしてふさわしいものはどれか。次の選択肢の中から最も適切なものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 切符の説明
- ② 切符ってなに？
- ③ 言葉は世につれ
- ④ 流行語と消える言葉